

七十七の地域貢献

～地域社会への貢献と「地域密着型金融の推進」～

平成21年3月期

平成20年4月1日～平成21年3月31日

七十七銀行

目 次

1. 地域貢献に関する考え方	1
2. 地域密着型金融の推進	2
3. 地域への信用供与の状況	5
(1) 貸出業務全般	
(2) 中小企業金融円滑化への取組み	
(3) 個人向け貸出業務	
4. 地域のお客さまへの 利便性提供の状況	15
(1) 店舗網等各種チャネルの整備	
(2) 預金業務等	
(3) 決済サービス	
(4) その他のサービス	
5. 地域経済活性化への取組状況	25
(1) 地元企業のサポート	
(2) 企業の育成への取組み	
(3) 地方公共団体の事業との関係	
6. 地域社会への各種支援活動の状況	32

七十七銀行は、宮城県のリーディングバンクとして、明治11年の創業以来永きにわたり地域の皆さまと共に歩んでまいりました。昭和36年に経営の基本理念として制定し、現在も行動の軌範として役職員に浸透している「行是」では、「自己の利益と公共の利益との調和をはかりながら、地域社会に貢献する」旨を謳っています。またそのなかでも「奉仕の精神の高揚」を第一に掲げて、地域社会の繁栄のために奉仕する姿勢を説いています。

行 是

銀行の使命は、信用秩序の維持と預金者保護の精神を旨とし、自らの創意と責任において資金の吸収と信用の創造を行い、もって国民経済の発展に寄与することである。

この公共的使命に基づき、当行は地方銀行として、自己の利益と公共の利益との調和をはかりながら、地域社会に貢献する。

以上の理念に立脚し、ここに当行に職を奉ずるものによるべき軌範を定める。

一．奉仕の精神の高揚

銀行の発展は、地域社会の繁栄とともにあることを認識し、つねに奉仕の精神の高揚につとめる。

一．信用の向上

銀行の生命は信用にあることを銘記し、つねにその向上につとめる。

一．和協の精神の涵養

和協の精神は、職務遂行の根幹であることを自覚し、つねにその涵養につとめる。

七十七銀行は、こうした基本理念のもと、地域社会の持続的な発展のためにリーダーシップを発揮して、社会的責任を果たし地域社会と共生する企業となることを目指しています。

具体的には、地域経済の発展に寄与するために、地域への円滑な資金供給とお客さまのニーズに合わせた商品・サービスの提供を行っているほか、地域経済の活性化のために、企業活動のサポートや各種情報の提供を行っています。さらに、良き企業市民としての観点から、社会貢献活動も継続的に行っています。

七十七銀行は、「行是」の理念を全うするために、地域社会への貢献を積極的に行い、その内容を地域の皆さまに十分にご理解いただけるよう今後とも努力してまいります。

※当行にとっての「地域」とは、当行の主要な営業基盤である「宮城県」を念頭においています。

■地域密着型金融の推進に関する基本的な方針

「地域密着型金融」とは、「お客さまとの親密な長いお付き合いの中で蓄積してきた情報を基に行っていく銀行取引」のことです。当行の地域密着型金融の推進に関する基本的な理念は、「1. 地域貢献に関する考え方」に記載した行是の理念そのものであり、行動の軌範として役職員に深く浸透しています。

七十七銀行では、こうした基本的な理念に基づき、以下を中期経営計画に定めています。当行はこの理念の実現に向け、これまで以上に地域社会の発展に貢献してまいります。

1. 目指す銀行像（中期経営計画「当行が目指す銀行像」）

「地域と共に新たな時代を創造する『Best creative bank』」
ベスト クリエイティブ バンク

2. ステークホルダーに対する貢献（中期経営計画「重点施策」より）

（1）地域経済発展への貢献

地域産業構造変換への対応、地元企業の育成・再生支援に取り組めます。

（2）顧客満足度の向上

コンサルティング能力の向上とホスピタリティの追求により顧客満足度の向上を図ります。

■平成20年度地域密着型金融推進計画の進捗状況

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

○創業・新事業支援機能等の強化

技術・アイディア面に優位性を有する創業・新事業進出企業に対し、宮城県における創業・新事業支援融資制度を活用した積極的な資金供給のほか、中小企業基盤整備機構、東北大学および東北イノベーションキャピタル等外部支援機関への紹介やビジネスマッチング情報の提供など、販売面、技術面、出資面をはじめとする融資以外の様々な面からも支援を行いました。

目	標：創業・新事業支援実績件数：50件
実	績：61件（うち創業・新事業支援融資実績40件／394百万円）

○事業再生・経営改善支援機能等の強化

地域において一定の営業基盤と相応の収益力を有しているものの、過剰債務や不採算部門等を有することから経営が悪化している地元企業の再生を支援するため、「事業再生ファンド」等外部機関も活用した事業再生支援に取り組んでいます。

地域金融機関の立場として、地域経済への貢献とともに地域社会の一員という観点もあわせ持ち、個社の再生だけでなく再生後の地域への影響も考慮した取り組みを行っています。

○セミナーや相談会の開催等による事業承継やM & Aへの取組強化

平成20年7月、地域における産業再生・活性化や企業の事業承継の有力な手段として注目されているM & Aを地域の皆さまにご理解いただくため、創業130周年事業の一環としてM & Aフォーラム主催による「M & Aフォーラム I N 仙台～地域力再生とM & A」を当行の協賛により開催しました。

○その他の取組み

経営改善支援取組み率：8.4% ＝経営改善支援取組み先数532件／期初債務者数6,367先〔正常先を除く〕				
ランクアップ率：14.1% ＝ランクアップ先数75先／経営改善支援取組み先数532先〔正常先を除く〕				
再生計画策定率：49.4% ＝再生計画策定先263先／経営改善支援取組み先数532先〔正常先を除く〕				
<経営改善支援等の取組み実績>				
	期初 債務者数	うち経営 改善支援 取組み先	うちランク アップ先数	うち再生 計画策定先
要注意先(要管理先を除く)	5,340先	438先	49先	195先
要管理先	162先	54先	19先	40先
破綻懸念先	452先	39先	7先	28先
実質破綻先	343先	1先	0先	0先
破綻先	70先	0先	0先	0先
合 計	6,367先	532先	75先	263先
<再生計画策定先内訳>				
	先 数		うち平成 20年度 策定先	
中小企業再生支援協議会の活用による再生計画策定先	7先		0先	
整理回収機構の活用による支援決定先	0先		0先	
当行独自の再生計画策定先	256先		142先	
合 計	263先		142先	

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給方法の徹底

○資金調達手段多様化への取組強化

中小企業の皆さまに対し円滑な資金供給を行うため、財務制限条項を活用した融資の積極的な推進を行いました。

目 標：財務制限条項活用融資実行金額：10,000百万円
実 績：158件／10,120百万円

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

○ビジネス商談会の開催

平成20年6月には宮城県と共催で「みやぎビジネス商談会」を、7月には地銀12行と連携し「全国地銀合同商談会in上海」を開催したほか、11月には地銀14行と連携し「地方銀行フードセレクション2008」を東京で、平成21年1月には宮城県、山形県、山形銀行等と連携し、「おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会」を開催しました。ビジネス商談会による情報提供を中心としたビジネスマッチング情報提供件数

は、目標を大幅に上回るなど、取引先の皆さまの販路拡大に貢献しました。

目 標	：ビジネスマッチング情報提供件数：2,000件
実 績	：2,962件

○地域内で実施されるPFI案件等、地域開発案件への積極的な対応

平成20年度は、PFI事業に取り組む宮城県内地方公共団体や参加を希望する地元企業に対して、ノウハウの提供と積極的な支援を行いました。引続き平成21年度に入札が予定されている事業を中心に、積極的な取り組みを行います。

○社会貢献に取り組む企業に対する支援

取引先企業の社会貢献活動に対する積極的な支援を通じ、地域社会への貢献を行うため、創業130周年記念事業の一環として、環境保護関連活動や育児支援関連活動などの社会貢献活動に積極的な取引先に対し、融資金利や私募債再発行手数料を優遇する「七十七社会貢献活動支援ローン」および「社会貢献活動支援私募債」の取扱いを平成20年6月より開始しました。

■地域密着型金融推進計画（平成21年度）

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

○創業・新事業支援機能等を強化します。

目 標	：創業・新事業支援実績件数：50件
------------	--------------------------

○事業支援・経営改善支援機能等を強化します。

○事業承継、相続対策ニーズに積極的に対応します。

目 標	：事業承継・相続提案件数：100件
------------	--------------------------

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

○資金調達手段多様化への取り組みを強化します。

目 標	：財務制限条項活用融資実行金額：10,000百万円
------------	----------------------------------

目 標	：ABL（アセット・ベース・レンディング：動産担保融資）取扱件数：10件
------------	---

○行員の目利き能力の向上を図ります。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

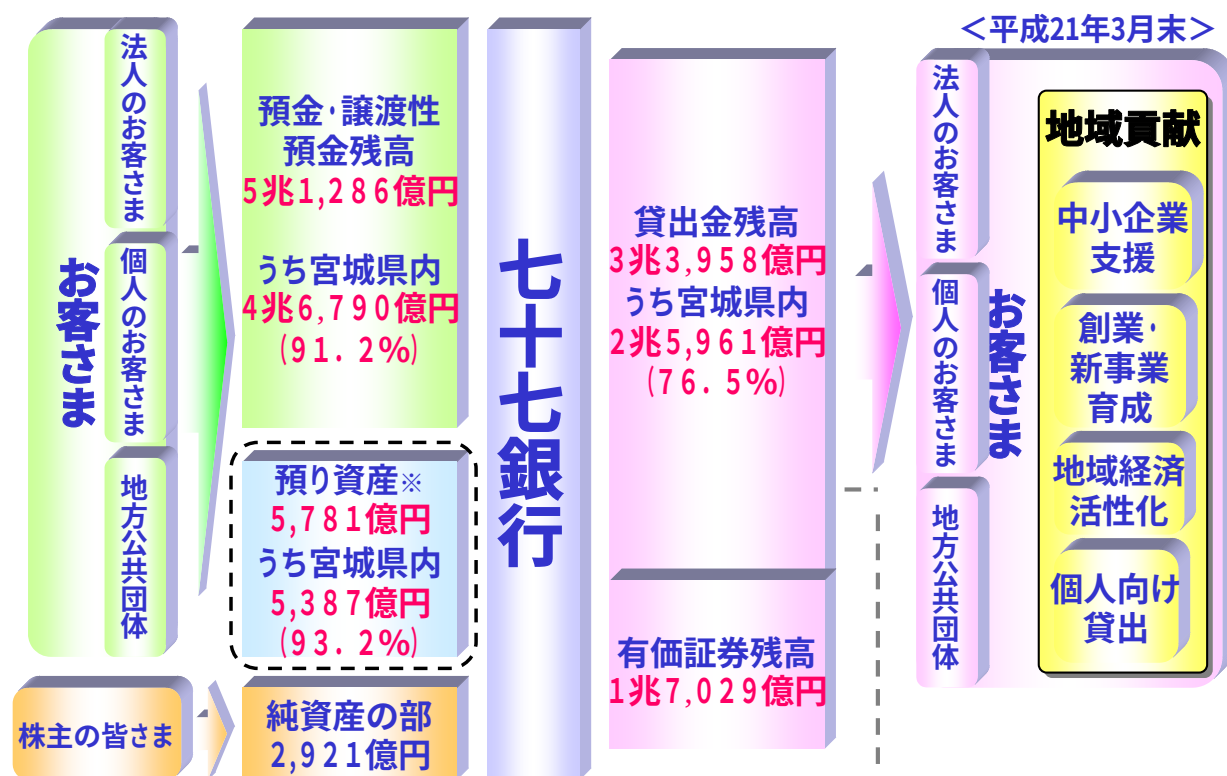
○食製品および工業製品を対象としたビジネス商談会を開催します。

目 標	：ビジネスマッチング情報提供件数：1,500件
------------	--------------------------------

○自動車関連産業やアグリビジネス等、地場産業の発展を支援します。

(1) 貸出業務全般

七十七銀行は、地域への円滑な資金供給と利用者の皆さまのニーズに合わせた商品・サービスの提供のため、利用者の皆さまからお預かりした預金等を、以下のように運用しています。



※「預り資産」は、外貨預金を除き当行の運用資産ではありません。

■業種別貸出金の状況

貸出金の業種別宮城県内向け割合をみると、貸出金残高ベースでは15業種中9業種において宮城県内向けが7割以上となっています。また、貸出先数ベースでは金融・保険業を除くすべての業種で宮城県内向けが8割を超えています。このように当行は、宮城県内のそれぞれの業種に対して、資金供給者として重要な役割を担っています。

(単位：億円、先)

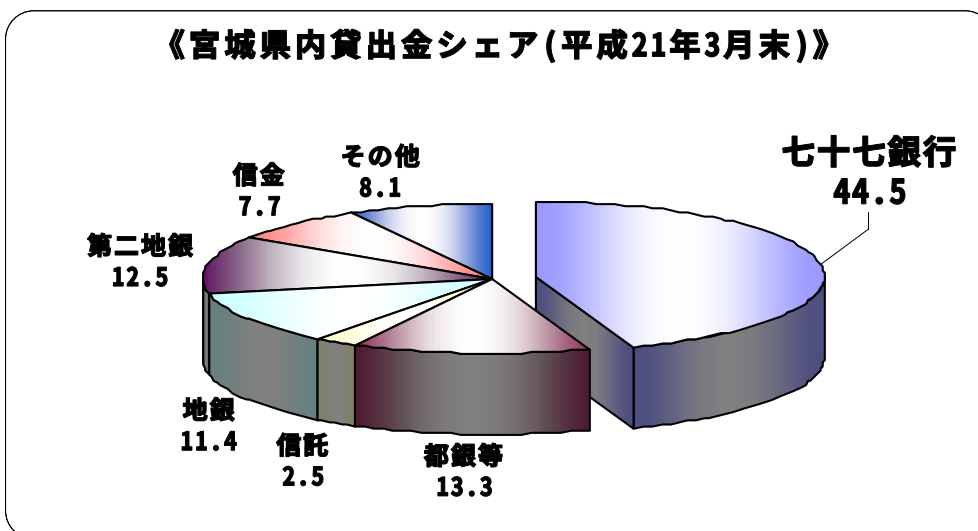
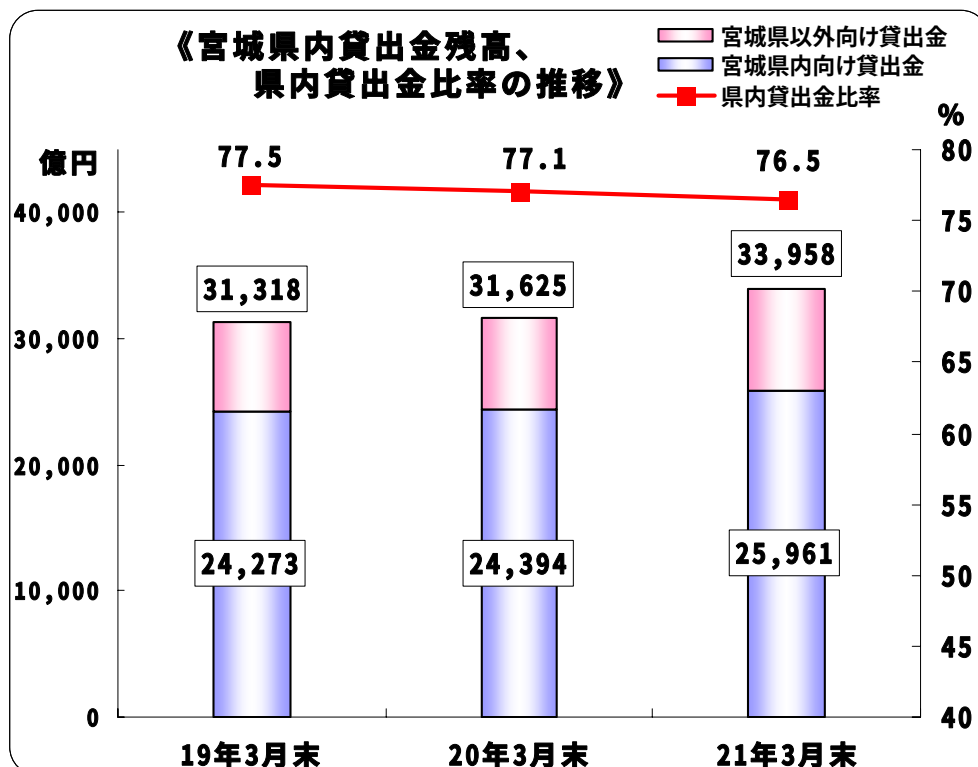
	業種	貸出金 残高	うち宮城県内向け		貸出先数	うち宮城県内向け	
				同比率			同比率
製	造業	3,209	1,720	53.6%	1,695	1,438	84.8%
農	業	17	16	93.3%	67	62	92.5%
林	業	3	3	98.3%	25	24	96.0%
漁	業	52	46	88.2%	67	55	82.1%
鉱	業	25	18	72.7%	19	17	89.5%
建	設業	1,480	1,339	90.4%	2,530	2,425	95.8%
電	気・ガス・熱供給・水道業	674	527	78.3%	37	31	83.8%
情	報通信用業	368	166	45.2%	160	140	87.5%
運	輸業	610	325	53.2%	422	383	90.8%
卸	売・小売業	3,347	2,615	78.1%	3,206	2,899	90.4%
金	融・保険業	2,623	448	17.1%	95	32	33.7%
不	動産業	3,604	2,516	69.8%	2,637	2,418	91.7%
各	種サービス	3,804	2,413	63.4%	3,738	3,443	92.1%
地	方公共団体	6,635	6,566	99.0%	55	49	89.1%
そ	の他	7,507	7,243	96.5%	167,528	161,040	96.1%
合	計	33,958	25,961	76.5%	182,281	174,456	95.7%

■宮城県内向け貸出金の状況

県内景気は公共投資や住宅投資が低調に推移しているほか、生産が大幅に減少し、雇用情勢の悪化などから個人消費に弱い動きが広がっているなど、全体として後退を続ける動きとなりました。

こうしたなか、地域のお客さまに対する資金供給に努めた結果、当行の宮城県内向け貸出金は前年比1,567億円増加しました。

当行の貸出金のうち、約77%が宮城県内向け貸出となっています。また、宮城県内における当行の貸出金シェアは、44.5%と高水準を維持しています。



※ゆうちょ銀行、農漁協は含まれておりません

(2) 中小企業金融円滑化への取組み

当行の貸出は、残高ベースで約33%が中小企業のお客さま向けとなっています。また、貸出先数(個人、地方公共団体を除く)では、貸出先の約97%が中小企業のお客様です。

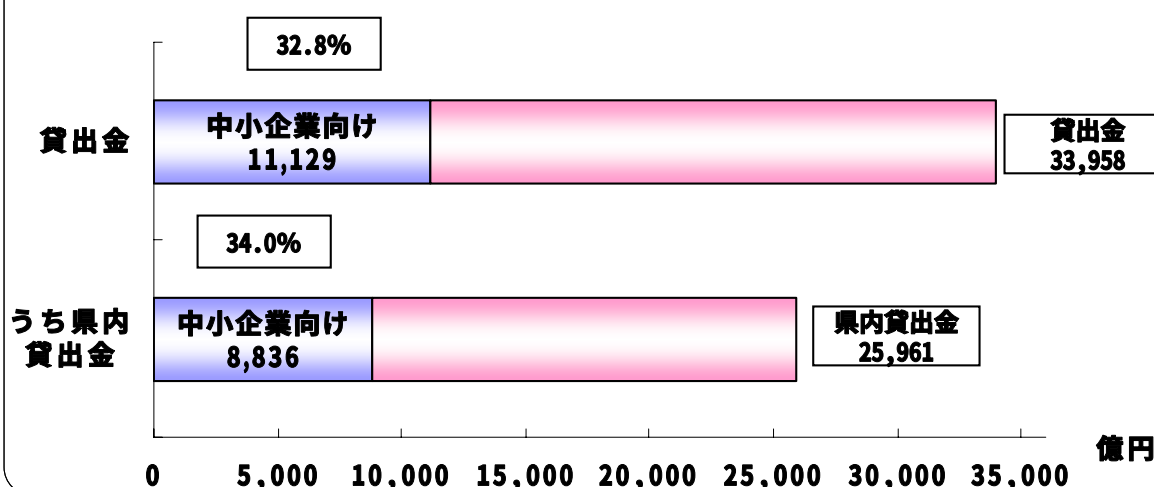
景気の悪化を受け、地域の中小企業を取巻く環境は厳しさを増していますが、当行では、地域金融機関として中小企業金融の円滑化への取組みは経営の根幹であると認識し、地元中小企業への安定的な資金供給と継続的な支援に積極的に対応しています。

■中小企業向け貸出金の状況

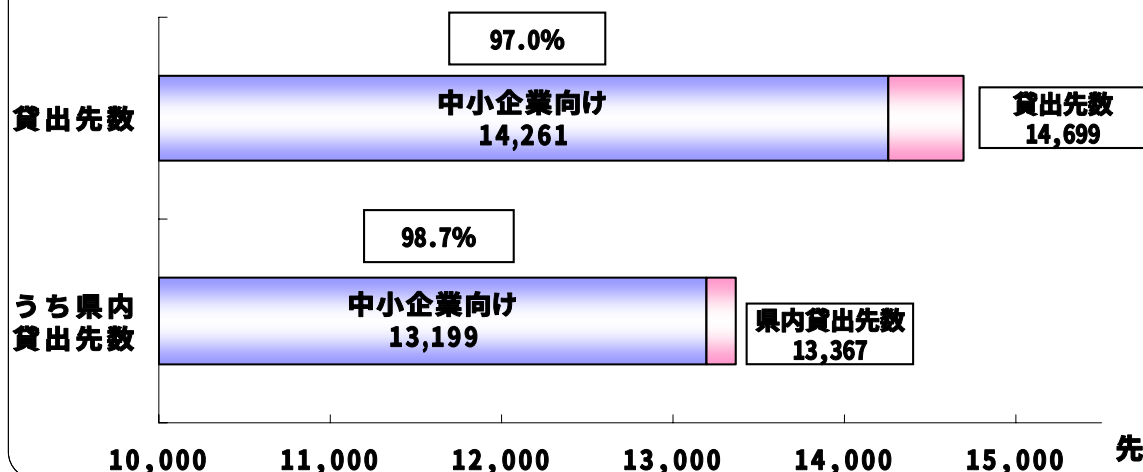
(単位：億円、先)

	貸出金 残高	うち中小 企業向け		貸出先数 (個人、地方公 共団体除く)	うち中小 企業向け	
		企業向け	同比率		企業向け	同比率
平成20年3月末	31,625	11,315	35.8%	15,167	14,748	97.2%
うち宮城県内向け	24,394	8,900	36.5%	13,785	13,620	98.8%
平成21年3月末	33,958	11,129	32.8%	14,699	14,261	97.0%
うち宮城県内向け	25,961	8,836	34.0%	13,367	13,199	98.7%

《中小企業向け貸出金(平成21年3月末)》



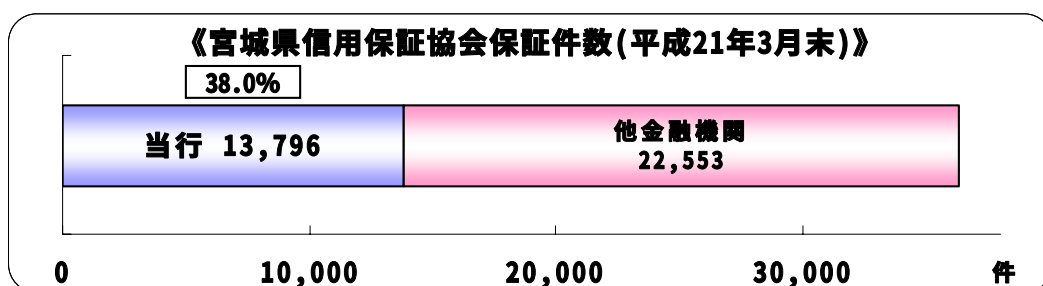
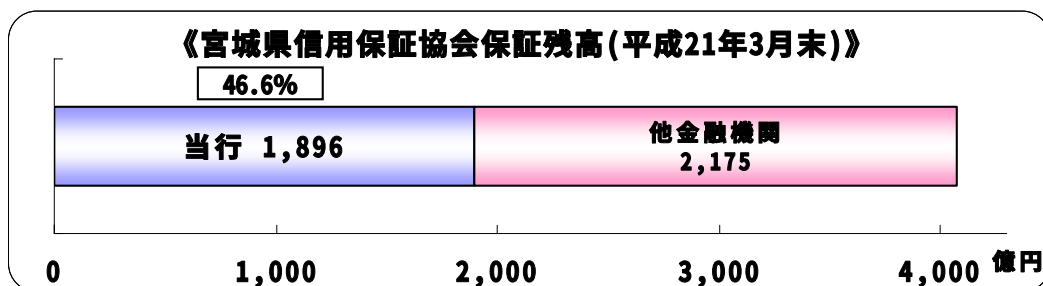
《中小企業向け貸出先数(平成21年3月末)》



(参考) 宮城県内の従業者数300人未満の事業所数は105千事業所(総務省「事業所・企業統計調査報告：平成18年10月1日」)であり、当行は宮城県内中小企業のほぼ8社に1社に対して貸出を行っています。

■宮城県信用保証協会付貸出金への取組状況

当行は、宮城県信用保証協会と連携し同協会保証付貸出を推進しています。同協会保証付貸出の当行の取扱シェアは残高で約47%、件数で約38%となっています。



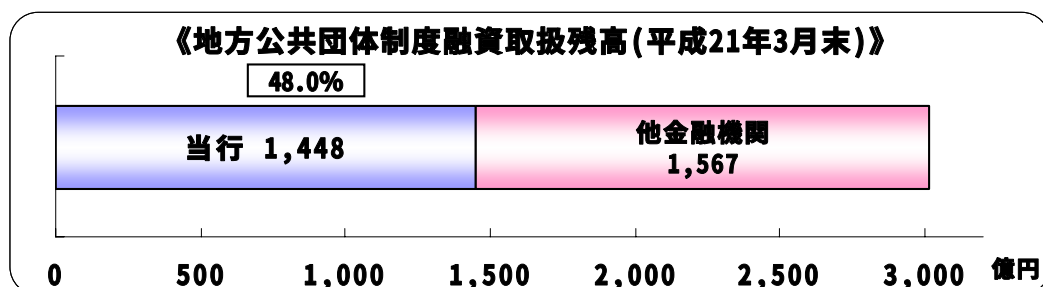
《主な保証協会保証付融資商品と当行取扱状況(平成21年3月末)》

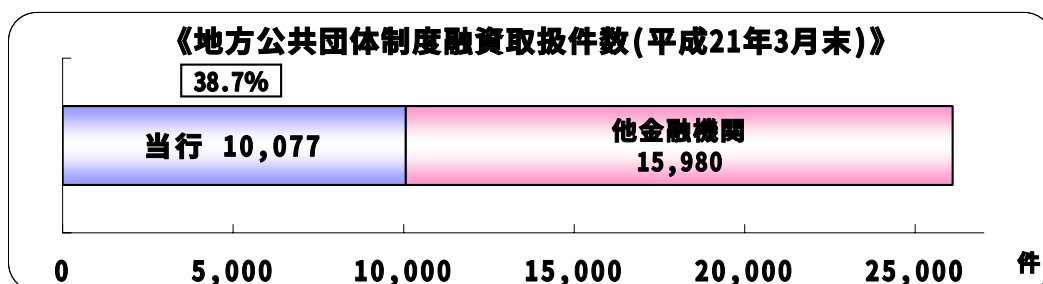
商品名(制度名)	商品の概要等	取扱件数 (件)	残 高 (億円)
事業者ローン(県信保口) (制度名: 合理化資金保証)	宮城県内で3年以上同一事業を営み、銀行が特に推薦する中小企業にご融資します。	133	17
事業者ローン(クイックI・II) (制度名: エクスプレスI・ 小額エクスプレスI)	宮城県内で2年以上同一事業を営む中小企業を対象としています。融資諾否のスピード回答が特徴です。	91	8
中小企業特定社債保証	純資産が1億円以上の中小企業が発行する社債に銀行と共同保証します。なお、財務要件を満たす必要があります。	31	28
事業者カードローン(県信保口) (制度名: 事業者カードローン 当座貸越根保証)	ご契約極度額の範囲内であれば、いつでも自由にお使いいただけます。	1,878	93

※事業者カードローン残高は極度額を記載しています。

■地方公共団体制度融資への取組状況

当行は、地方公共団体の制度融資を積極的に推進しており、当行の取扱シェアは残高で48%、件数で約39%となっています。





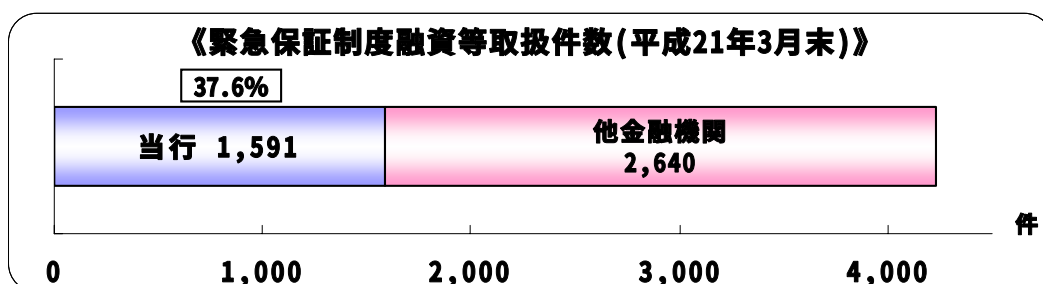
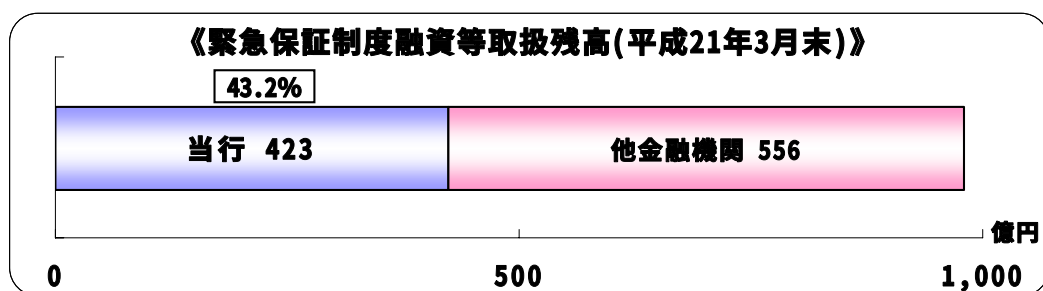
《主な地方公共団体制度融資と当行取扱状況(平成21年3月末)》

商品名(制度名)	商品の概要等	取扱件数 (件)	残 高 (億円)
宮城県中小企業経営安定資金	宮城県内の中小企業を対象とし、一般資金と売掛債権担保活用資金、セーフティネット資金に区分されます。	5,165	1,038
仙台市中小企業育成資金	仙台市内の中小企業を対象とし、振興資金と経済変動対策資金に区分されます。	2,449	268
市町村中小企業振興資金	市町村の制度要綱に基づき、市町村長が認める企業を対象とした制度融資です。	1,850	97

■緊急保証制度等への取組状況

当行では、未曾有の経済不況のなか、地域の中小企業の皆さまの資金繰り円滑化に向けた支援を一層強化するため、平成20年10月に要件が緩和されたセーフティネット5号の認定を活用した緊急保証制度等について、融資取引の有無にかかわらず訪問やダイレクトメールの送付などにより幅広く制度のご案内を行うなど積極的な取組みを行いました。

その結果、平成21年3月末までの取扱いは1,591件/423億円となり、多くの資金需要にお応えすることができました。



■その他資金繰り円滑化への取組み

◆営業店長による訪問運動を通じたお客さまとの接点増加

平成20年度上半期には事業性融資取引のあるお客さま約12千先、平成20年度下半期には法人・個人のお客さま約17千先へ営業店長を中心に訪問する運動を実施し、それ以後も随時訪問を継続するなどお客さまとの接点増加に努めています。

訪問の際には、営業店長自らがお客さまの生の声をお聞きするとともに、今後の資金繰りを含めたお客さまの経営課題や資産運用の悩み等を承り、問題解決に向けたアドバイスを実施しています。

◆年末・年度末の中小企業金融円滑化への対応

平成20年後半からの経済環境の急激な悪化をうけ、平日における全営業店での資金繰り相談に加え、平成20年12月には5日間、年度末である平成21年3月には7日間の計12日間、休日にもご相談を受け付ける「中小企業金融円滑化に向けた休日相談窓口」を設置しました。

窓口へのご来店や電話でのご相談を数多くお受けし、新規のご融資や現在のお借入れの返済方法についてのアドバイスを行いました。

◆資金繰り円滑化に向けた本部・営業店一体となった取組み

平成20年度下半期には、中小企業のお客さまの資金繰り円滑化に本部・営業店一体となった取組みを行うため、事業性貸出金のうち、特に中小企業向け貸出金に目標を絞った増強運動を行うなど、全行をあげて中小企業の資金繰り円滑化にむけた取組みを行いました。

また、融資判断に際して、赤字、債務超過等の事象のみで画一的に判断することなく、中小企業の経営実態や特性をふまえた対応を行うため、行員の目利き力向上に向けた研修等も随時行っています。

◆企業の支援機能の一層の強化に向けた組織改正の実施

宮城県を中心に、東北地方では大手製造業の進出決定が相次いでおり、地域産業構造の変化が予想されています。当行ではこうした状況下、地域経済の発展に向け従来以上に積極的な取組みが求められている状況をふまえ、営業力の強化と企業向けの支援機能の強化を目的として、平成21年3月、組織改正を行いました。

従来の「法人」「個人」といったセクター別の体制から、「企画」機能と「支援」機能に区分した機能別組織に営業推進部門を再編し、「営業支援部」を新設すると共に「産・学・官」の連携等を活用した企業向けの支援機能を一層強化していく観点から、新たに「地域振興部」を新設しています。

当行では地域の産業構造の変化に対応し、進出企業等に対しあらゆる面からサポートをすると同時に、進出企業への製品納入等、新たなビジネスチャンスに積極的に取り組む地元企業の皆さまをしっかりと応援していきます。

■中小企業向け融資商品

当行では、その他にも中小企業のお客さま向けの以下のような融資商品を取り揃え、中小企業金融の円滑化に取り組んでいます。

《主な融資商品と取扱状況（平成21年3月末）》

商品名	商品の概要等	取扱 件数 (件)	残 高 (億円)	県内 比率
77ビジネスローン <フォワード30>	当行との融資取引1年以上の中小企業および医療法人のお客さまに、運転資金としてご利用いただけます。無担保・第三者保証人不要を特徴としているあいおい損害保険(株)の信用保険を活用した融資商品です。 ※保険料は当行が負担いたします。	411	25	93.7%
77ビジネスローン <アクティブ30>	<アクティブ30>は当行と融資取引のあるお客さまに、 <アクティブ10>は融資取引のないお客さまにご利用いただけます。いずれも無担保・第三者保証人不要を特徴としています。また、融資期間は最長5年であり、運転資金・設備資金のほか、決算・賞与資金にもご利用いただけます。 ※オリックス(株)の保証がご融資の際に必要なになります。	621	35	92.2%
77ビジネスローン <アクティブ10>		27	0.6	91.2%
77パートナー スペシャルファンド	一定の財務要件を満たす優良企業を対象とした商品です。融資期間中の財務指標の変化に応じて金利を変更する財務制限条項をつけており、同条項を活用することで担保・第三者保証人を不要とするとともに、低利の固定金利資金を提供しています。	748	286	88.9%
77パートナー チャレンジファンド	一定の財務要件を満たす中堅・中小企業を対象とした無担保・第三者保証人不要の固定金利商品です。	201	25	89.6%
事業者ローン <ランクアップ保証口>	経営の改善や事業の再構築を図るお客さまに、無担保で幅広くご利用いただける宮城県信用保証協会との提携商品です。	37	6	100.0%
77アグリビジネス ローン <アクティブ>	農業法人および農業を営む個人のお客さま向けの「スピード回答」「無担保・第三者保証人不要」のご融資で、運転資金・設備資金にご利用いただけます。 ※オリックス(株)の保証がご融資の際に必要なになります。	12	0.4	83.8%
提携フラッシュ保証	宮城県内で事業を営まれ、従業員数が卸売業・小売業・飲食業・またはサービス業の場合は5名以下、その他の業種の場合には20名以下のお客さまに対し、無担保・第三者保証人不要で500万円まで迅速に対応できる宮城県信用保証協会との提携融資商品です。	26	0.5	100.0%

商品名	商品の概要等	取扱 件数 (件)	残 高 (億円)	県内 比率
私 募 債	「物上担保付私募債」、「県信保付私募債」、「銀行保証付私募債」の受託および引受を行っております。当行がその元利金支払を全額保証する「銀行保証付私募債」では、期日一括償還型のほか、定時償還型も取扱い、お取引先企業の資金調達ニーズに幅広くお応えしております。	124	132	89.3%

(3) 個人向け貸出業務

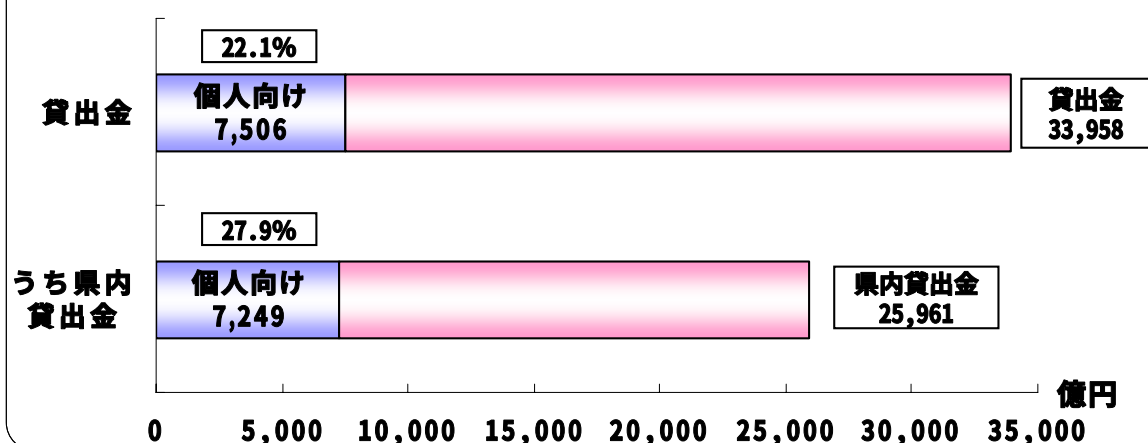
■個人向け貸出金の状況

当行の個人向け貸出比率は残高ベースで約22%となっています。また、宮城県内に限れば、残高の約28%が個人向けとなっています。

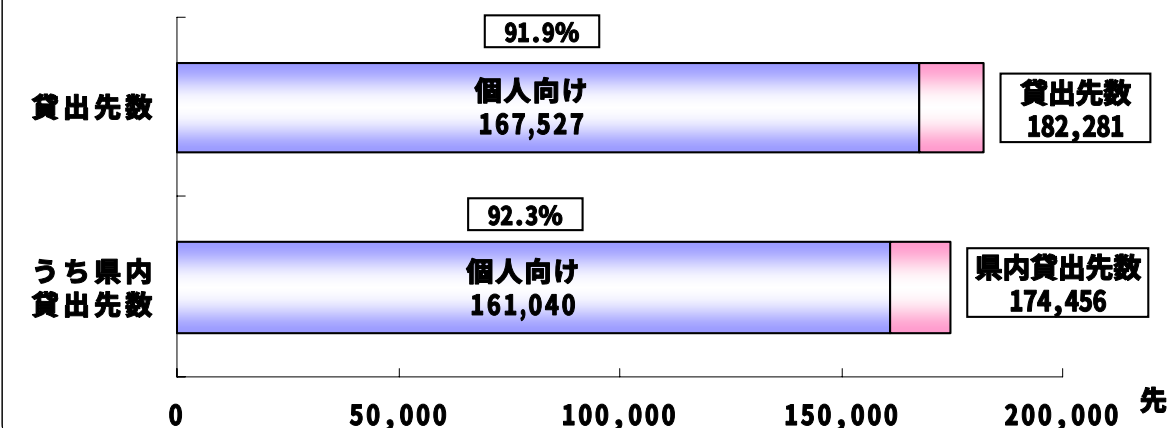
(単位：億円、先)

	貸出金 残 高	うち		貸出先数	うち	
		個人向け	同比率		個人向け	同比率
平成20年3月末	31,625	7,331	23.2%	185,174	169,952	91.8%
うち宮城県内向け	24,394	7,062	29.0%	177,002	163,169	92.2%
平成21年3月末	33,958	7,506	22.1%	182,281	167,527	91.9%
うち宮城県内向け	25,961	7,249	27.9%	174,456	161,040	92.3%

《個人向け貸出金残高(平成21年3月末)》



《個人向け貸出先数(平成21年3月末)》



■住宅ローンの取扱状況

当行の住宅ローンは、残高、件数ともに増加傾向にあります。当行の住宅ローンのうち、残高、件数とも約97%が宮城県内向けの取扱いとなっています。

(単位：億円、件)

	住宅ローン 残 高	うち		住宅ローン 件数	うち	
		県内向け	同比率		県内向け	同比率
平成20年3月末	6,376	6,177	96.9%	53,773	52,198	97.1%
平成21年3月末	6,619	6,423	97.0%	54,316	52,773	97.2%

(参考)

宮城県内の持ち家世帯数は521千世帯（総務省「国勢調査：平成17年10月1日」）であり、当行は宮城県内持ち家世帯のほぼ10世帯に1世帯に対して貸出を行っていることになります。

■個人向け融資商品の取扱状況

当行では、以下のような融資商品を取り揃え、個人のお客さまの様々な資金ニーズに対応しています。

《主な融資商品と取扱状況（平成21年3月末）》

商品名	商品の概要等	残 高 (億円)	県内 比率
住宅ローン	住宅の新築・増改築、建売住宅・マンション・土地の購入など住まいづくりのための資金調達、または他の金融機関で借入れている住宅ローンのお借換えを目的としたローンです。	6,619	97.0%
くらしあっぷローン	ライフプランや目的に合わせて、マイカープラン、教育プラン、フリープラン、フリープランワイドの4種類をご用意しています。全て保証会社保証付の無担保・保証人不要のローンです。	115	96.8%
カードローン	当座貸越専用口座を開設するとともに、専用カードを交付し、そのカードにより現金自動支払機を利用して貸付けいたします。所定の極度額の範囲内であれば、反復して自由に借入可能なローンです。	247	94.2%
7 7 モ ビ ッ ト	上記カードローンのうち、消費者金融会社の（株）モビットと保証提携しているカードローンです。24時間365日、電話、郵送、ファックス、インターネット、携帯サイトで簡単かつ短時間で申込みいただけ、審査結果はスピード回答いたします。また、当行とお取引がなくても申込可能となっています。	50	96.7%

そのほか、居住用不動産に根抵当権を設定することにより反復してご利用できる資金使途が自由な「よゆうのローン」、各市町村と提携した提携ローンなどがあります。

■取引チャネルの状況

◆ローンセンター

宮城県内8ヵ所に、個人向けローンを専門的に取扱う拠点としてローンセンターを設置しており、住宅ローンでは当行全体の取扱件数の約6割を取扱っています。

県内5ヵ所のローンセンターでは土曜・日曜営業を、県内3ヵ所のローンセンターでは日曜営業を行っており、より便利にご利用いただけます。

《ローンセンターの取扱状況：平成20年度》

(単位：件、%)

	当行住宅ローン
当行全体の取扱件数 a	4,899
ローンセンターの取扱件数 b	2,899
ローンセンターの取扱比率 $b \div a$	59.2

◆取引チャネルの多様化等

お客さまの利便性を高めるため、取引チャネルの多様化を進めています。

当行ホームページでは、窓口にご来店いただくことなく、住宅ローンをはじめとした各種個人ローンのお申し込み（仮審査お申込）ができる「77ローンサービス」を行っています。

※ご融資契約の際にはご来店が必要です。

また、当行ホームページには、住宅関連の総合情報を提供するサイト「77住まいづくり応援プラザ」を掲載しており、個人のお客さまのライフプランに合わせた各種情報やシミュレーション機能をご利用いただけます。

《取引チャネル別消費者ローン受付状況：平成20年度》

(単位：件)

	住宅ローン	くらしあっぷローン等	77モビット	合計
店頭	6,637	4,247	4	10,888
電話	—	—	1,935	1,935
FAX	—	1,096	149	1,245
インターネット	312	927	307	1,546
郵送	—	1,491	333	1,824
携帯サイト	—	—	1,718	1,718
合計	6,949	7,761	4,446	19,156

◆お客さまのご来店状況

当行の宮城県内の店舗では、一日あたり約169千件のご利用をいただいています。

《お客さまご利用件数：平成20年度》

	総ご利用件数	うち 宮城県内店舗 ご利用件数	一日平均	
			一日平均	一店舗平均
窓口ご利用件数	6.9 百万件	6.6 百万件	26,928 件	210 件
A T Mご利用件数	52.0 //	50.6 //	141,680 //	1,124 //
合計	58.9 //	57.2 //	168,608 //	1,334 //

※「窓口ご利用件数」は窓口での受付件数を、「A T Mご利用件数」は店舗内A T Mのご利用件数を示しています。

◆休日営業等への取組

当行では、お客様の利便性向上のため、「相談プラザ」や「ローンセンター」を中心に、休日営業等を実施し、お客さまにより便利にご利用いただけるよう努めています。

《相談プラザ・ローンセンターの営業日・営業時間》

相談プラザ・ローンセンター名	営 業 日・営業時間
仙台駅前相談プラザ（仙台駅前支店内）	平 日：午前9時～午後4時30分
エアリ相談プラザ （「イオンモール名取エアリ」内）	年中無休：午前10時～午後10時
明石台相談プラザ（明石台支店内）	年中無休（12月31日～1月3日を除く） 平 日：午前9時～午後5時 土・日・祝日：午前10時～午後5時
泉中央相談プラザ（泉中央支店2階） 長町相談プラザ（長町支店2階）	平日・土曜・日曜：午前9時～午後4時30分 （土・日以外の祝日、5月3日～5日、 12月31日～1月3日は除く）
本店ローンセンター	平 日：午前9時～午後3時 土曜・日曜：午前9時～午後4時30分 （土・日以外の祝日、5月3日～5日、 12月31日～1月3日は除く）
長町ローンセンター 泉ローンセンター 仙台東口ローンセンター	平日・土曜・日曜：午前9時～午後4時30分 （土・日以外の祝日、5月3日～5日、 12月31日～1月3日は除く）
古川ローンセンター 岩沼ローンセンター	平日：午前9時～午後3時 日曜：午前9時～午後4時30分 （日曜以外の祝日、5月3日～5日、 12月31日～1月3日は除く）
石巻ローンセンター	平日・日曜：午前9時～午後4時30分 （日曜以外の祝日、5月3日～5日、 12月31日～1月3日は除く）
杜せきのしたローンセンター	年中無休：午前9時～午後4時30分 （5月3日～5日、12月31日～1月3日は除く）

※本店、仙台東口の各ローンセンターの土曜・日曜日、古川、岩沼の各ローンセンターへの日曜日のご来店につきましては、事前の予約が必要です。

■A T Mの状況

◆A T Mネットワーク

当行は、宮城県内のキャッシュサービスコーナー368ヵ所（店舗内127、店舗外241）に、A T M901台を設置しています。また、セブン銀行に加え、平成21年1月からはイーネット、ローソン・エイティエム・ネットワークスと提携し全国約29千台のコンビニA T M等でキャッシュカードを利用した入出金・残高照会がご利用いただけます。

また、山形銀行、東邦銀行とのA T M提携サービス「MYキャッシュポイント」（一部の時間帯を除き相互のA T Mを自行と同じ条件で使用可能）に加え、平成21年4月からは、仙台銀行、杜の都信用金庫、宮城第一信用金庫、石巻信用金庫、仙南信用金庫、気仙沼信用金庫の県内6金融機関と、平日昼間の出金手数料を無料とするA T M相互利用サービス「みやぎネット」を実施しました。

当行はお客さまの利便性をより一層向上させるため、今後もサービスの拡充をはかってまいります



《キャッシュサービスコーナー、A T Mの設置状況(平成21年3月末)》

(単位:ヵ所、台)

	キャッシュサービスコーナー	A T M		
		うち宮城県内	設置台数	うち宮城県内
七十七銀行	384	368	930	901
セブン銀行	12,814	329	13,803	337
イーネット	9,454	280	9,489	280
ローソン・エイティエム・ネットワークス	6,053	151	6,058	151

《A T Mのご利用件数：平成20年度》

総合計	うち宮城県内キャッシュサービスコーナー			
		一日一台あたり		
			店舗内	店舗外
87百万件	86百万件	289件	253件	357件

※店舗外A T Mを含めたご利用件数を示しています。

◆障がい者対応A T Mの設置状況

当行は、視覚に障がいをお持ちのお客さまにより便利にご利用いただけるように、キャッシュサービスコーナーのある全営業店141ヵ店に音声案内機能付A T M、誘導点字ブロックを整備しています。

今後も当行では、すべてのお客さまに、より便利に、より安心してご利用いただけるよう、サービスの充実を図ってまいります。

■休日におけるお客さまのトラブル対応

偽造・盗難キャッシュカード被害の未然防止策として、お客さまからのキャッシュカード紛失・盗難等の事故のお届けを、24時間受付する体制を整備しています。

お通帳、キャッシュカード等の紛失等緊急の場合のご連絡先
(24時間365日受付)
フリーダイヤル【0120-77-1099】

※ATM操作時にトラブルが発生した場合は、キャッシュサービスコーナーに備付のガイドフォンをご利用下さい。

■チャネル多様化の取組状況

当行は、お客さまの多様なニーズにお応えし、店舗にご来店いただかなくとも直接ご利用いただけるよう、以下のようなダイレクトチャネルを充実させてまいりました。

◆テレホンバンキング

電話による残高・入出金照会、振替、振込、新規口座の開設、定期預金作成・解約予約がご利用いただけるサービスです。お取引時間は平日の9時から19時までで、自動音声による対応とオペレーターによる対応があります。

また、あらかじめ登録された利用口座については、ご住所の変更手続や1日あたりのキャッシュカード払戻し限度額の引下げ等もご利用できます。

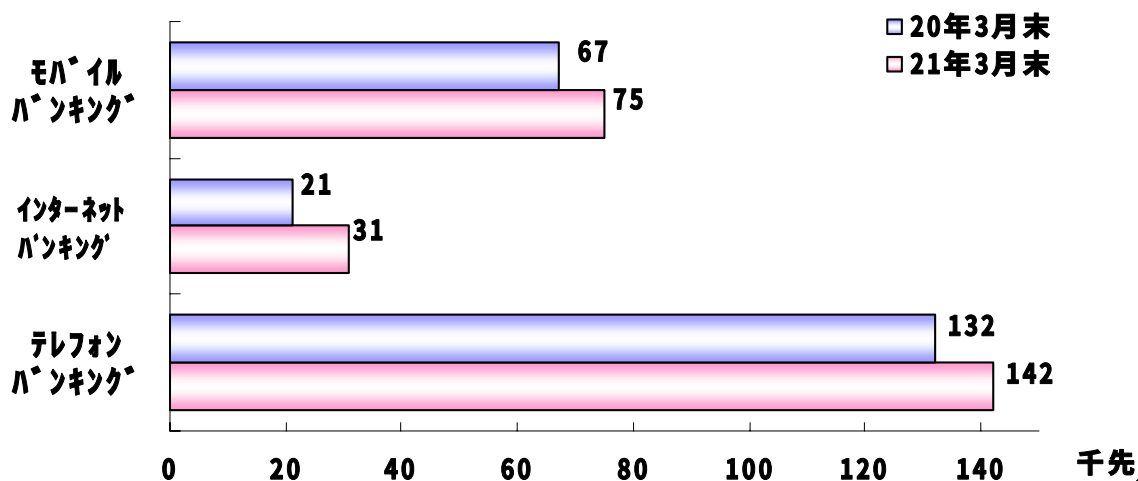
◆インターネットバンキング

お客さまのパソコンからインターネットによりお取引いただくサービスです。残高・入出金照会、振替、振込、定期預金作成・解約予約、投資信託取引、税金・各種料金払込み「Pay-easy（ペイジー）」が24時間（一部のサービスを除きます。）いつでもご利用いただけます。

◆モバイルバンキング

「iモード」、「EZweb」、「Yahoo!ケータイ」対応の携帯電話でご利用いただけるサービスです。残高・入出金照会、振替、振込、税金・各種料金払込み「Pay-easy（ペイジー）」（オンライン方式に限ります。）が24時間（一部のサービスを除きます。）いつでもご利用いただけます。また、平成20年8月からは、「電子マネー『Edy』チャージサービス」（「iモード」、「EZweb」対応の携帯電話に限ります。）の取扱いも開始しました。

《ダイレクトチャネルの宮城県内会員数》

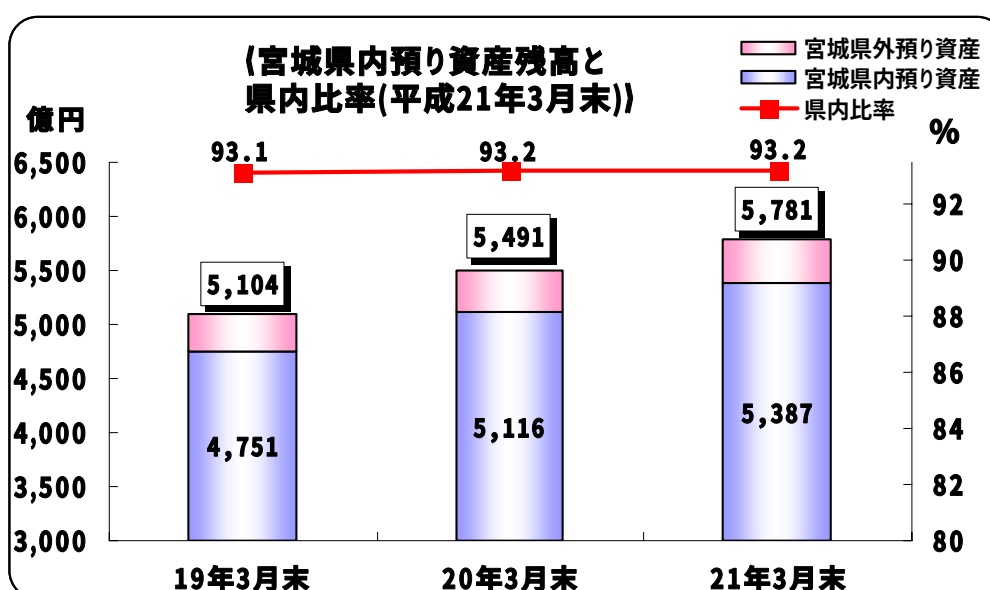
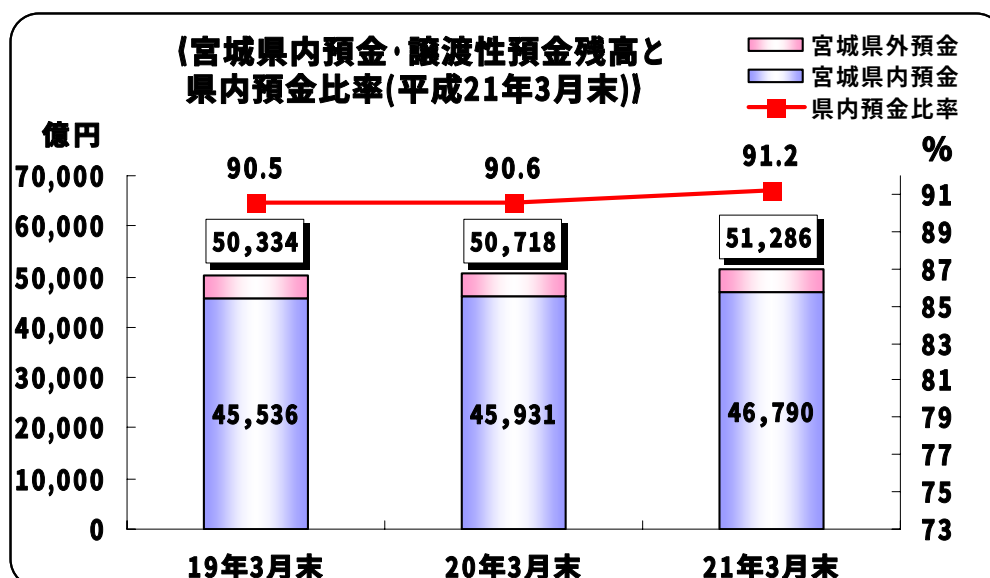


※モバイルバンキング、インターネットバンキング会員は、入会の条件として、テレホンバンキング会員である必要があります。

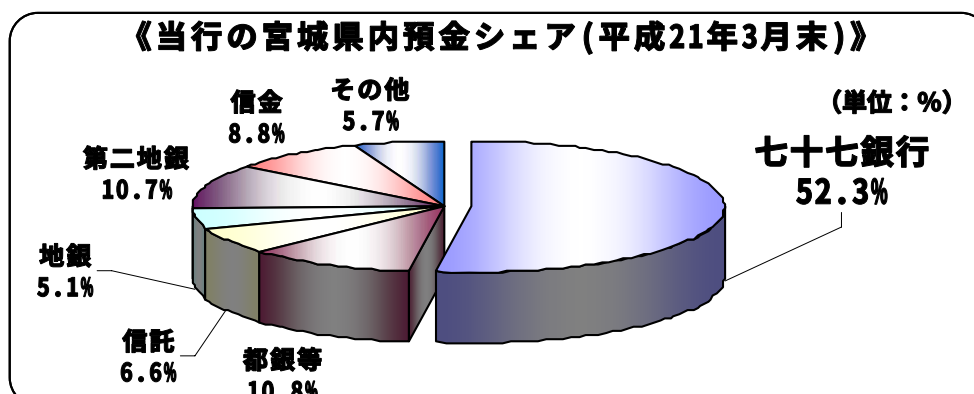
(2) 預金業務等

■宮城県内の預金等の取引の状況

当行は、預金・譲渡性預金や投資信託等の預り資産のいずれも、その9割以上を宮城県内のお客さまからお預りしています。預金については、金融機関の健全性が重要視されるなか地域のお客さまから高いご支持をいただき、県内シェアは52.3%となっています。



※預り資産には外貨預金を含んでおります。

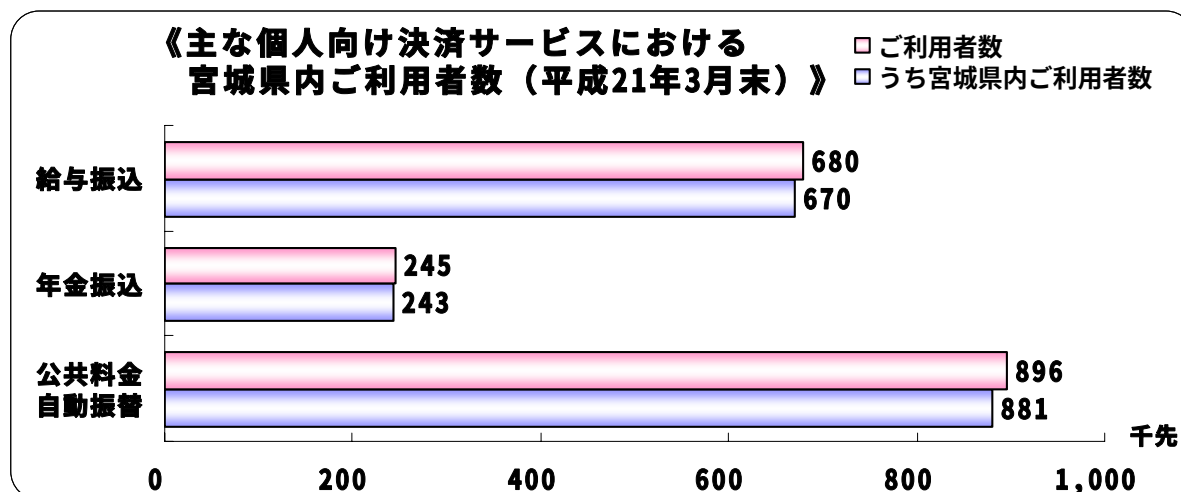


※ゆうちょ銀行、農漁協は含まれておりません

(3) 決済サービス

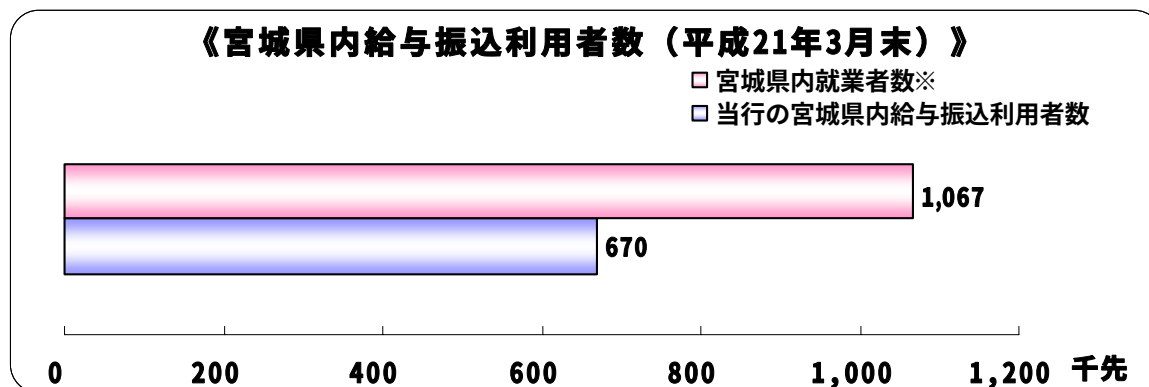
■主な決済サービスの宮城県内利用状況

個人のお客さまにご利用いただく当行の主な決済サービスの約98%は、宮城県内にお住まいのお客さまにご利用いただいています。

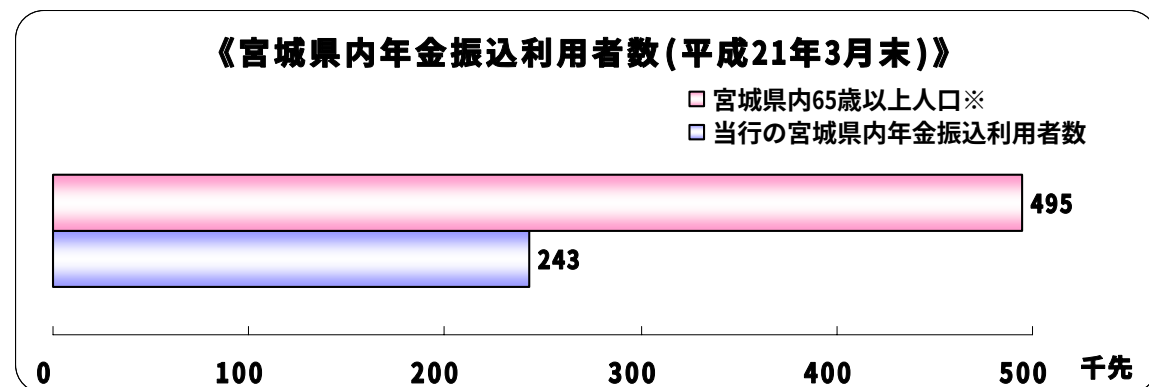


■給振・年金振込利用者の当行利用状況

当行の口座を利用して給与を受取る宮城県内のお客さまは、宮城県内従業者数の6割を超え、同様に年金を受取る皆さまは、宮城県内65歳以上人口の約5割となっているなど、地域の多くの皆さまから家計のメインバンクとしてご利用いただいています。



※資料：総務省「事業所・企業統計調査報告：平成18年10月1日」



※資料：総務省「住民基本台帳要覧：平成20年3月31日」

(4) その他のサービス

■地域の皆様への情報提供

◆地元企業の研修会等のサポート

当行では、地域の皆様をお招きする著名な講師による政治・経済をテーマとした講演会や、地元企業の皆様の企業経営・社員教育等に役立つような各種のセミナー、研修会を開催しています。また、お取引先企業への講師派遣も行っています。

《外部講師による講演会・セミナーの実績（平成20年度）》

自動車関連産業参入支援セミナー	平成20年6月には郡山市で、平成20年7月には山形銀行と共催で仙台市で開催しました。このセミナーは自動車関連産業への参入を検討しているお客さまへの情報提供を目的として行われ、講師からは東北の自動車関連産業の現状や自動車関連産業へ参入を果たした具体的な成功事例等について紹介していただきました。
夏季経済講演会	平成20年7月、財団法人七十七ビジネス振興財団との共催で開催しました。講師に(株)日本総合研究所副理事長の高橋 進氏をお招きし、「日本経済の展望と課題」について講演いただきました。当日は地域の皆さま約200名に出席いただきました。
新春講演会	平成21年1月、講師に早稲田大学大学院教授の田勢 康弘氏をお招きし、開催しました。本店のほか、県内2会場で開催し、3会場合計で約720人にご参加いただきました。
アグリビジネスセミナー	農業生産を中心に流通・販売等を複合的に組み合わせることで付加価値を高めようとするいわゆる「アグリビジネス」への関心が高まるなか、平成21年2月、山形銀行との共催で開催しました。このセミナーは農業生産者や今後農業関連産業への参入を検討している事業者を対象に、アグリビジネスに関する情報の提供を目的として開催したもので、地域の農業生産者等約360名の皆さまにご参加いただきました。

《当行行員講師による講演会・研修会の実績（平成20年度）》

調査部長等による講演会	お取引先企業26先に、調査部長・部員を派遣し、講演会・研修会で講演を行いました。
新入社員研修会	平成20年4月、本店ほか4会場にて計8回開催しました。参加人数は約370名で、社会人として必要な挨拶・電話応対等を中心に研修を行いました。
接遇応対研修会	お取引先企業など13先に対し、講師を派遣しました。

◆各種調査結果の公表

○「調査月報」(年12回発行)

宮城県内の経済・景気動向を調査・分析しています。HPでも公開しています。

○「県内企業動向調査」(年4回実施)

宮城県内約850社の企業を対象に、県内の景況感等の把握を目的としたアンケート調査を実施し、分析結果を公表しています。

○「相談実務」(平成20年度 9回発行)

税務、法務等に関する情報提供誌です。

○その他タイムリーなテーマ等についての調査・公表

平成20年度は、石油製品価格の変化が県内の企業収益等に及ぼす影響に関する調査を実施し、その分析結果を公表しました。

◆「七十七『相続』相談ホットライン」

高齢化社会の進展を背景とした相続にかかる相談ニーズの高まりに応え、「七十七『相続』相談ホットライン」を開設しています。相談には当行行員がお応えするほか、弁護士、税理士等の専門家へのお取次ぎも致します。専門家と個別に契約する場合を除き、料金は無料です。どなたでもお気軽にご利用いただけます。

「七十七『相続』相談ホットライン」
フリーダイヤル【0120-7838-77】
 受付時間(平日 9:00~17:00)

《「七十七『相続』相談ホットライン」
 相談受付実績(平成20年度)》

法律 283	税務 78	その他 60
--------	-------	--------

(単位：件)

◆年金講演会・相談会、資産運用セミナー、投資信託セミナー等の開催

お客さまに年金について十分ご理解いただくために、社会保険労務士による年金講演会・相談会を開催しています。

また、金融資産の運用に関する情報をご提供するために、当行のマネーアドバイザーや外部講師による資産運用セミナー、投資信託セミナーを開催しています。資産運用セミナーおよび投資信託セミナーは、お客さまのご要望にお応えしながら宮城県内各地で休日も含め開催しており、多くのお客さまに参加いただいています。

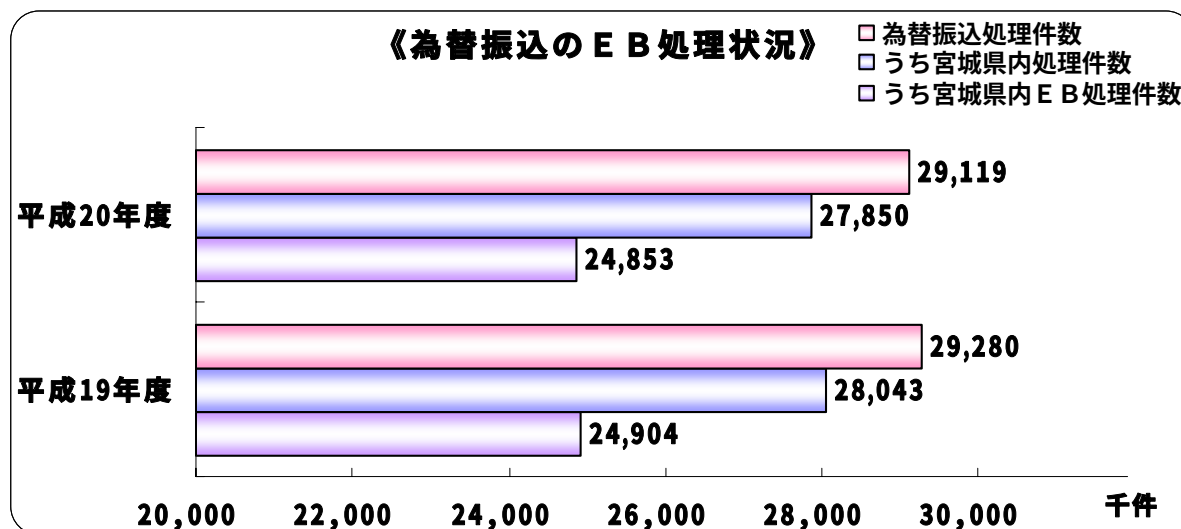
《各種セミナー等の開催状況(平成20年度)》

	年金講演会・相談会	資産運用セミナー (うち休日開催)	投資信託セミナー (うち休日開催)
開催回数	4回	132回 (55回)	17回 (1回)
開催カ所 (累計)	4カ所	25カ所	10カ所
参加人数 (累計)	324名	1,186名	1,755名

■ E B等の推進

当行では、お待たせしない窓口づくりの一環として、為替振込等取引の電子化(E B)等を推進しています。インターネットバンキングなどのE B媒体やA T M等をご利用いただければ、窓口でお待ちいただくことなく取引できることに加え、窓口ご利用の場合と比べて振込手数料がお安くなります。

現在、当行の為替振込処理のうち約96%が宮城県内のお客さまからのご依頼分であり、そのうち約9割をA T M、インターネットバンキング、ファームバンキング等にてお取り扱いしています。



《 F B 契約先数 (平成21年3月末) 》

(単位: 先)

F B 契約先数	セブンメイト・ セブンメイトPC		セブンメイト We b	
	うち宮城県内	うち宮城県内	うち宮城県内	うち宮城県内
16,478	15,373	4,288	7,178	6,810

■ その他のサービス

◆ 〈七十七〉 ポイントセブン

〈七十七〉ポイントセブンは給与振込・年金振込などのお受取りや公共料金の自動支払いなどお客さまとの取引をポイントに換算し、合計ポイント数に応じてローン金利や手数料の優遇などの特典があるサービスです。

平成21年5月からは、コンビニA T Mの利用手数料優遇(月2回まで)やポイント対象取引の追加など、優遇サービスを追加・拡大してご提供しています。

■子会社等を通じた利便性の提供

◆リース業務

グループ会社の「七十七リース」においてリース業務を行っています。主として宮城県内企業に対し、ファイナンスリース等を取扱っています。

《宮城県内事業所に対するリース契約状況(平成21年3月末)》

リース契約先数(先)	うち宮城県内(先)	同比率(%)
3,951	3,591	90.9%

◆クレジットカード業務

グループ会社の「七十七カード」において、クレジットカード業務を行っています。J C B、V I S A、M a s t e r の各カードを取扱っています。

《宮城県在住の七十七カード個人会員の状況(平成21年3月末)》

	七十七カード 個人会員数(人)	うち宮城県内(人)	同比率(%)
J C B	129,772	118,192	91.1%
V I S A	48,376	45,030	93.1%
M a s t e r	2,726	2,511	92.1%
合 計	180,874	165,733	91.6%

◆計算業務等の受託

グループ会社の「七十七コンピューターサービス」において計算業務等の受託を行っています。

《宮城県内事業所からの計算業務等の受託状況(平成21年3月末)》

	受託事業所先数(先)	うち宮城県内(先)	同比率(%)
民間事業所	85	84	98.8%
地方公共団体	23	23	100.0%
その他	5	5	100.0%
合計	113	112	99.1%

◆労働者派遣業務

グループ会社の「七十七スタッフサービス」において労働者派遣業務を行っています。当行への派遣のほか、宮城県内企業に対する派遣を行っています。

(1) 地元企業のサポート

■ ビジネスマッチング

◆ お取引先企業への情報提供

当行はお取引先の皆さまの経営を支援するため、ビジネスマッチングの情報提供とコンサルティング機能の充実に努めています。

宮城県内128ヵ店と県外15ヵ店の営業拠点(平成21年3月末現在)を活用し、お客さまからさまざまな情報やニーズをお受けしています。これらを営業店網を通じて他のお取引先企業に提供し、お客さまの商談や経営効率化等につなげられるよう努めています。

○ みやぎビジネス商談会の開催

平成20年6月、お取引先の皆さまの、新たなビジネスチャンスを創出する場として、「みやぎビジネス商談会」を開催しました。宮城県の主力産業である食料品にテーマを絞って開催し、仕入企業・納入企業が延べ700件を超える活発な商談を行いました。



○ 地方銀行フードセレクション2008

平成20年11月、地銀14行（当行のほか、北海道銀行、群馬銀行、常陽銀行、千葉銀行、横浜銀行、第四銀行、山梨中央銀行、八十二銀行、北陸銀行、大垣共立銀行、広島銀行、伊予銀行、宮崎銀行）が連携し、「地方銀行フードセレクション2008」を東京で開催しました。首都圏への販路開拓ニーズのある14行の取引先約350社（うち当行取引先23社）が、来場した流通・外食等の仕入れ企業に、こだわりの食材のPRを行いました。

○ おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会

平成21年1月、当行、宮城県、山形県、山形銀行、ならびにやまがた食産業クラスター協議会が連携して「おいしい山形・食材王国みやぎビジネス商談会」を開催しました。太平洋と日本海に面した両県の地域特色ある食材をスーパー・百貨店等51社の仕入れ企業に対してPRしました。当日は仕入れ企業、納入企業がのべ618件に及ぶ活発な商談を行いました。当行は、今後とも商談会の機会の創出を通じて、地域の皆さまのニーズにお応えしていきます。

○ 77 BUSINESS SUPPORT

「77 BUSINESS SUPPORT」は、当行ホームページにおいて企業活動に資する情報をお取引先企業に無料で提供する会員制サイトです。このサイトでは、全国の地方銀行の会員間で営業情報を共有しビジネスに結びつけるコーナーや、ニュース・経営情報等を常時提供しています。



■地元企業の経営相談等への取組状況

◆経営相談

ソリューション営業課では、お電話や営業店を通じ、企業の皆さまから法律・経営・財務・税務に関するご相談をいつでも無料で受けています。また、毎週特定日には専門家による無料相談も行っています。

《宮城県内企業からの経営相談実績(平成20年度)》

- 相談受付件数：合計504件（うち嘱託専門家：122件）

その他 22

法律 148	経営・財務 172	税務 162	
--------	-----------	--------	--

(単位：件)

- 報告書・提案書作成件数：合計64件

事業承継 42	経営診断 21	(参考) 個人向け相談 47
---------	---------	-------------------

その他 1

(単位：件)

※事業承継とは、自社株の評価等事業の承継等に関する相談を、経営診断とは、財務分析、事業開始に伴う商圏・業界調査等に関する相談をいいます。

◆海外取引等のサポート

- 上海駐在員事務所によるサポート

経済の国際化と産業構造の変化に伴い、地元お取引先企業の中国に関係するビジネスが増加し、現地に進出する企業も増加しています。上海駐在員事務所では、こうした中国に関する地元お取引先企業のニーズに対応し、きめ細かいサポートを行っています。

- 全国地銀12行による上海合同商談会の開催

お取引先企業（主に機械・金属・プラスチック等製造業の皆さま）の中国からの部品・資材等調達先や販路の開拓をサポートするため、ビジネス商談会「全国地銀合同商談会 in 上海」を平成20年7月、上海市において当行はじめ地銀12行合同で開催しました。上海市での商談会は3回目となりましたが、当日は中国企業約1,100社が来場し、延べ2,500件を超える商談が行われました。



- 海外ミッションの派遣

海外進出や海外取引を希望するお取引先企業を対象として、海外への視察団（海外ミッション）を派遣し、現地の経済情勢や投資環境等の視察・調査を行っています。平成8年の開始からこれまで13回の派遣を行っており、毎回15社前後のお取引先企業が参加しています。ミッション参加をきっかけに現地企業との商談が成立した事例も多く、お取引先の取引拡大に貢献しています。



○セミナーの開催等

地元企業の皆さまへの海外の経済情勢、投資環境等にかかる情報提供を目的として、セミナーの開催や、情報誌「ワールドクォーター77」の発行を行っています。

平成20年度は、為替相場動向に関するセミナーを2都市（郡山市、山形市）で開催したほか、宮城県、三井住友銀行との「産業振興に関する協力協定」に基づき、平成21年2月には「海外ビジネスセミナー&個別相談会」を開催しました。

◆地元企業への人材派遣

当行の平成21年3月末の外部出向者20名のうち、約7割にあたる15名を宮城県内企業に派遣しています。

《宮城県内企業への人材派遣実績（平成21年3月末）》
(単位：人)

外部出向者数	うち宮城県内企業	同比率
20	15	75.0%

(注) 当行のグループ会社、関連団体への出向者を含みません

■地元企業再生への取組状況

当行では、企業活力を十分に発揮できていないお取引先企業の「早期再生」支援の強化を通じて地域経済の一層の活性化に寄与するため、審査部に「企業支援室」を設置しています。併せて、お取引先企業の経営に対する指導・助言を強化する「ランクアップ活動」も実施しています。

また、事業再生への取組みにあたっては、「中小企業再生支援協議会」や、事業再生ファンドなどの各種再生手法も活用しています。

《ランクアップ活動の状況(平成20年度)》

(単位：先、億円)

ランクアップ内容		先数	貸出額
経営改善支援の取組先数		597	2,375
破綻懸念先から上位区分へ		7	27
要管理先から上位区分へ		19	120
要管理先以外の要注意先から正常先へ		49	175
		75	322
合計	うち宮城県内取引先 (宮城県外本社の上場企業を除く)	73	318

(2) 企業の育成への取組み

■企業育成への取組状況

◆創業企業等への投融資の状況

当行では、地域金融機関として地元中小企業を育成する観点から創業（ベンチャー）企業等に対し、以下のような融資制度、投資事業を行っています。

77ニュービジネス支援資金	ご融資金額1億円以内で、新技術の開発や新分野への進出等における研究開発資金、事業展開資金としてご利用いただけます。また産業クラスター計画関連等の補助金や委託費の交付決定先企業を対象に「つなぎ資金」の取扱いも行っております。
宮城県等の各種制度融資	宮城県の創業育成資金、仙台市の新事業創出支援融資制度等の創業企業向け各制度融資を積極的に活用しています。
ベンチャー育成ファンド 「あおばサクセス番号 投資事業有限責任組合」	平成15年3月に設立された投資事業組合で、みやぎ産業振興機構のほか、当行をはじめ宮城県内大手企業等13団体が5億4,000万円を出資し、宮城県内の産業振興、雇用対策を目的に、宮城県を中心とした東北6県等に本社を置く企業に投資することとしています。
産学官連携ベンチャー ファンド 「東北インキュベーション 投資事業有限責任組合」	平成16年3月に設立された投資事業組合で、当行をはじめ宮城県・仙台市ほか12団体が31億8,000万円を出資し、東北地域における新規事業の創出および中小企業等の成長支援を目的に投資することとしています。
ベンチャー企業等投資 ファンド 「東北グロース投資事業 有限責任組合」	平成18年8月に設立された投資事業組合で、当行をはじめ東北経済連合会ほか20団体が35億8千万円を出資し、東北地域におけるベンチャー企業および第二創業を行う既存企業の成長支援を目的に投資することとしています。

◆商工会議所等との提携

当行では、地域金融機関として地元取引先企業に対する経営相談・支援機能の取組強化の観点から、県内商工会議所および宮城県商工会連合会との提携を行っています。提携商工会議所等の会員は、特定の融資商品を優遇金利でご利用いただくことができます。

《宮城県内商工会議所等との提携実績(平成21年3月末)》

提携先	提携融資商品	宮城県内取扱実績
仙台商工会議所	77ビジネスローン <フォワード30> <アクティブ10> <アクティブ30>	667件/ 5,391百万円 (平成21年3月末)
石巻商工会議所		
塩釜商工会議所		
古川商工会議所		
宮城県商工会連合会		
気仙沼商工会議所		

◆産学連携への取組み

当行は、産学の連携を通じた地域の発展と地域経済の活性化に資することを目的とし、国立大学法人東北大学と連携協力に関する協定を締結しています。

また、平成20年12月には、地域の大学、高専等20以上の機関で組織され、地元企業の技術相談にワンストップで対応するKCみやぎ推進ネットワークに加盟しました。KCみやぎ推進ネットワークへの技術相談企業に対し、地域金融機関として金融面に加え、事業経営の様々な場面においてビジネスの支援を行うと同時に、当行の取引先の技術的な相談に対し、KCみやぎ推進ネットワークへの取次ぎを行うことで、取引先の技術相談への対応を行っています。

今後についても、産学連携の取組みにおけるそれぞれの専門能力および人材等を活かし、大学の研究成果の事業化や地域企業への情報提供および技術協力、産学連携を担う人材の育成等を通じて、地域における産学連携の一層の推進に貢献してまいります。



◆財団法人七十七ビジネス振興財団

当行は、宮城県の産業振興と経済発展への貢献を目的として、平成10年4月に「財団法人七十七ビジネス振興財団」を設立しています。

同財団では、評価の高い商品・サービス、優れた技術力・経営手法をお持ちの企業を対象とした「七十七ビジネス大賞」と、新規性や独創性のある技術やノウハウ等により積極的な事業展開を行っている企業、および新規事業活動を志している起業家を対象とした「七十七ニュービジネス助成金」の表彰事業（年1回、11月）を行っています。また、講演会やセミナーの開催のほか、情報誌の発行などを行っています。

第11回七十七ビジネス大賞受賞企業

コセキ株式会社	(仙台市)
株式会社ヒルズ	(大河原町)
株式会社フジ・コーポレーション	(富谷町)

第11回七十七ニュービジネス助成金受賞企業

有限会社テクノ・キャスト	(大崎市)
株式会社メムス・コア	(仙台市)
株式会社REO研究所	(東松島市)



(3) 地方公共団体の事業との関係

■指定金融機関業務の受託状況

宮城県および県内36市町村、合計37地方公共団体のうち、35団体から公金取扱業務を受託（指定金融機関、指定代理金融機関合計）しており、公金の収納や支払等の事務を通じ、幅広く県内の皆さまにご利用いただいています。

また、当行は、地域の皆さまの利便性を考慮し、地方公共団体の庁舎内や関連施設内44カ所に、53台のA T Mを設置しています。

**《宮城県内地方公共団体からの指定金融機関業務の
受託状況（平成21年3月末）》（単位：先）**

「指定金融機関」 を受託 28	「指定代理金融 機関」を受託 7	指定 なし 2
--------------------------------	---------------------------------	------------------------

■地方公共団体向け資金供給の状況

◆地方公共団体向け貸出の状況

当行は、豊かで住みよい街づくりのために、地方公共団体に対し円滑な資金供給に努めており、道路や病院、学校等の整備事業や福祉の向上など地域社会の発展に積極的に協力しています。平成21年3月末現在、当行は宮城県内37の地方公共団体のうち、35団体に貸出を行っています。

《宮城県内地方公共団体向け貸出金等の状況》

（単位：先、億円）

	貸出金		（参考）預金・譲渡性預金	
	取引地方公共団体数	残高	取引地方公共団体数	残高
平成20年3月末	34	5,745	36	2,479
平成21年3月末	35	6,555	36	2,522

（注）特別地方公共団体、地方公社との取引を除きます。

■産業振興に関する協力

◆宮城県、三井住友銀行との産業振興に関する協力協定締結

県内企業と県外企業の取引促進や、自動車産業等の集積に向けた連携を強化することで、宮城県における産業経済の成長を促進し、地域全体の活性化を図る観点から平成20年7月、宮城県、三井住友銀行と「産業振興に関する協力協定」を締結しました。

平成21年2月には、協定に基づく事業として「宮城県自動車関連産業新規参入セミナー」、「海外ビジネスセミナー&個別相談会」を開催しました。今後についても、3者が連携・協力し、宮城県の産業振興施策を支援してまいります。



■地方債の引受状況

当行は、地方公共団体の発行する市場公募地方債、共同発行公募地方債を引受しています。平成20年度は、市場公募地方債70億円、共同発行公募地方債6億円を引受けました。

《宮城県内地方公共団体発行 市場公募地方債の引受状況》

(単位：億円)

	市場公募地方債※発行総額	
		うち当行引受額
平成19年度	250	78
平成20年度	280	70

※住民参加型を含みます

《共同発行公募地方債の引受状況》

(単位：億円)

	共同発行公募地方債発行総額		
		うち宮城県・仙台市調達分	
			うち当行引受額
平成19年度	12,140	760	12
平成20年度	12,300	830	6

■PFI事業への取組

財政負担の軽減と公共サービスの質の向上を図るため、宮城県や県内市町村においてPFIによる公共事業の実施検討が増加しており、県内では既に7つの案件が事業を開始しています。当行はそのうち5件に融資金融機関として参加しており、うち2件については事業者のメイン行としてアレンジャー兼エージェント業務を行っています。

<取組実績>

- ・仙台市／余熱利用施設建設案件(融資金融機関、アレンジャー兼エージェント)
- ・仙台市／学校給食センター建設案件(融資金融機関、アレンジャー兼エージェント)
- ・東北大学／寄宿舍建設案件(融資金融機関)
- ・石巻地区広域行政事務組合／消防本部庁舎移転案件
(融資金融機関、コ・アレンジャー)
- ・仙台市／天文台施設建設案件(融資金融機関、コ・アレンジャー)

当行は、今後もPFI案件に取組む宮城県内地方公共団体や参加を希望する地元企業に対して、ノウハウの提供と積極的な支援を行ってまいります。

■地方公共団体関連事業への人材派遣

当行の地方公共団体関連事業への人材派遣実績は、平成21年3月末で3名となっています。

■地球環境の保護

当行は、地域環境を保護するために、さまざまな取組みを行っています。大量に使用する伝票や封筒、印刷物についての再生紙の利用や処分文書の再生処理など日常的な環境負荷の通減にも留意しています。

また、環境保護関連などの社会貢献活動に積極的な企業向けに金利や私募債発行手数料を優遇した融資商品や、投資信託販売商品への環境ファンド組入れなど、環境に配慮した金融商品も提供しています。さらに平成20年9～10月には、宮城県の環境保全政策「わたしのe行動（eco do!）宣言」と連携した環境配慮型定期預金「＜七十七＞e定期預金」の取扱いを、平成21年1月からは環境に配慮した住宅の取得をサポートする「住宅ローン環境サポートキャンペーン」の取扱いを行いました。

平成20年6月から9月、地球温暖化防止国民運動「チーム・マイナス6%」や「仙台・みやぎクールビズ宣言2008」に賛同し、電力使用量の削減による二酸化炭素排出削減に一層の貢献を行うため、「夏の軽装勤務（クールビズ）」も実施しています。

また平成20年10月には、「仙台・宮城デスティネーションキャンペーン」の実施時期にあわせ、創業130周年記念事業の一環として仙台市中心部や県内の観光地等合計7ヵ所で清掃活動を行う「七十七クリーンアップ運動」を実施しました。

■社会福祉への貢献

◆「小さな親切」運動

当行は、「小さな親切」運動宮城県本部の設立以来、33年にわたりその活動の事務局を務めており、企画・運営に携わっています。主な活動は以下のとおりです。

○「クリーンキャンペーン」への参加

平成20年8月、当行から約50名（会員企業合計約240名）が参加して仙台市内中心部を3コースに分かれて清掃し、社会的モラルの向上をPRしました。



○車椅子の寄贈

毎年、運動本部（東京）から車椅子の提供を受け、県内の社会福祉施設に寄贈しています。当行は事務局として、寄贈先の選定や贈呈式の運営を行っています。

○社会福祉施設等の慰問

毎年、県内の老人保健施設等を訪問し、唄や踊り、津軽三味線等演芸を披露するなど、施設の方々とともに和やかなひとときを過ごしています。

◆愛の募金会

「七十七愛の募金会」は当行がこれまで地域社会から受けてきたご支援への感謝を表すため、平成6年に社会福祉事業・施設等への寄付を目的として当行役職員により設立されました。平成20年度は、24団体に総額340万円の寄付を行いました。



◆ピンクリボンフェスティバルへの協賛

当行は、乳がん対策の重要性を訴えるピンクリボン活動の社会的な意義を踏まえ、地域での乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の重要性を伝えるため、昨年度に引続き平成20年度も「ピンクリボンフェスティバル2008」に協賛企業として参加するなど積極的な支援を行っています。

◆七十七交通安全協力会

当行は、交通安全運動の推進とその支援・協力を行う「七十七交通安全協力会」を組織しています。

同協力会では、交通安全意識高揚の一助となるよう、昭和44年から毎年、宮城県内の新入学児童全員に「交通安全下敷」を寄贈しており、平成20年度新入学児童向けとして本年も宮城県内全ての小学校に合計約2万4千枚を贈呈しました。

◆献血キャンペーン等による血液事業への協力

当行では創業130周年記念事業の一つとして、平成20年7月から企業献血「創業130周年記念七十七献血キャンペーン」を実施しました。今回のキャンペーンでは、宮城県赤十字血液センターの協力を受け、県内延べ35ヵ所に移動採血車が巡回し、行員ならびに行員家族1,200名が献血に協力しました。

今回初めて献血を行った行員も多く、本キャンペーンにより献血の重要性の理解が深まったほか、社会貢献活動への参加意識をより高める契機ともなりました。当行では、今後も定期的な企業献血を実施し、広く社会に貢献してまいります。



■地域との交流

◆地域行事への参加、協賛

宮城県では、仙台七夕まつりをはじめさまざまな地域行事が開催されています。平成20年度は、どんと祭、仙台青葉まつりなど、6つのお祭りに約430名の当行役職員が参加しました。さらに各営業店では、営業地域内のお祭りへの参加や七夕飾りの出展、所属商工会を通じた地域行事への参画など、地域の皆さまとの交流を図っています。

また、当行は県内各地のお祭り等さまざまな地域行事へ積極的に協賛しています。



どんと祭

◆七十七銀行金融資料館

七十七銀行金融資料館は当行の創業120周年を記念し、地域の皆さまの長年のご愛顧への感謝をこめ開設しました。お金の歴史と役割、銀行の誕生と発展、宮城県や日本の産業経済等をわかりやすく紹介しており、平成20年度は約1,700名のお客さまにご来館いただきました。平日の午前9時から午後3時までの開館です。



◆「<七十七>キッズサマースクール」の開催

金銭に対する健全な価値観を養成する金融教育およびものづくりへの関心を涵養する情操教育を行うことを通じて、地域への社会貢献を推進する観点から、平成20年7月から8月にかけて「<七十七>キッズサマースクール」と題し、地域の小学生を対象とした「金融教室」、「ものづくり教室」を開催しました。



■スポーツの振興

当行は、仙台市で開催される「市民マラソンin仙台」、「仙台国際ハーフマラソン」の両大会に協賛しています。スタッフジャケットやゼッケンを提供しているほか、交通規制看板の設置などに協力しています。

○地元プロスポーツチームを通じたスポーツ振興

当行は、サッカーJリーグ／ベガルタ仙台と、プロ野球パシフィックリーグ／東北楽天ゴールデンイーグルス、およびバスケットボール bj リーグ／仙台89ERSのオフィシャルスポンサーとして地元チームの活動を応援し、地域のスポーツ振興に貢献しています。また、より多くのお客さまに地元プロスポーツに親しんでいただくため総合口座通帳およびICキャッシュカードに上記3チームのキャラクターデザインを採用しています。



◆ 企業スポーツとしての大会参加

当行運動部の主な戦績は以下のとおりです。

○ 硬式野球部

- ・ 第79回都市対抗野球大会 出場
- ・ 第35回社会人野球日本選手権大会 出場

○ 陸上競技部

- ・ 第50回東日本実業団陸上競技選手権大会
男子やり投げ 第1位（2連覇）
女子400mハードル 第2、3、4位入賞
女子400m 第2、3、6位入賞
女子400mリレー 第2位
- ・ 第92回日本陸上競技選手権大会
男子やり投げ 第3位
- ・ 第56回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会
男子やり投げ 第2位
女子400mハードル 第3、4、8位入賞
女子400m 第3、6位入賞
女子400mリレー 第2位

ほか

○ バドミントン部

- ・ 第51回全日本社会人選手権大会
女子シングルス第2位
女子ダブルス 第5位
混合ダブルス 第3位
 - ・ 全日本総合バドミントン選手権大会
女子ダブルス 第5位
混合ダブルス 第5位
- ほか



◆ 小中高生に対する技術指導等

役職員が組織している運動部は、記録会や技術指導教室の開催など、地域の小中学生や高校生に直接指導を行うことで、地域との交流を図るとともに、スポーツ技術の向上に寄与しています。

○ 硬式野球部

平成20年12月、八戸市で開催された野球教室に監督が講師として参加し、高校生に技術指導を実施したほか、平成21年1月にも、山形県高校野球技術強化講習会に招かれ、指導者や選手約80名に技術指導を実施しました。

○ 陸上競技部

平成20年6月、地域社会との交流や地域の陸上競技の競技力向上を目的として「第2回七十七銀行陸上競技記録会チャレンジ2008」を開催しました。当日は宮城県内の中高生や一般の選手を中心に、約1,200名が参加しました。また、「小学生陸上クリニック」への参加や各地区の高体連強化練習会への参加など、日々の活動において、随時実技指導、合同練習などを行っています。

○ バドミントン部

毎週火曜・木曜日に仙台市内体育館にてジュニア指導を実施しているほか、その他にも随時、県内各地で合同練習会を実施しています。また、平成20年6月には、スポーツを通じた生涯学習啓蒙の一環として仙台市内の中学校で、生徒および父兄を対象とした講演会および模範試合を実施しました。

■文化活動の後援

◆「東北大学への寄附講座」の開設

平成20年4月、地域経済の発展と人材育成に資する教育研究を通じて、地域社会への貢献を図るため、地域の経済金融に関する教育研究をテーマとした寄附講座を開設しました。

寄附講座の概要

開 設 部 局：国立大学法人東北大学大学院経済学研究科
講 座 名 称：地域経済金融論（七十七銀行）寄附講座
期 間：平成20年4月1日～平成22年3月31日
大 学 院 授 業：「地域経済論」「地域金融論」を開設

◆公演・展覧会への協賛

当行では、地域の文化振興に貢献するため、多くの文化活動等への協賛を行っています。平成20年度は「第52回全東北ピアノコンクール」や「国際親善交流特別演奏会」、「第45回宮城県芸術祭」をはじめ数多くの文化・スポーツ活動への協賛を行いました。

◆「七十七ふれあいコンサート」の開催

「七十七ふれあいコンサート」は、地域の小・中学生の皆さまに仙台フィルハーモニー管弦楽団の迫力ある生のオーケストラ演奏に接する機会を提供することを目的に、平成4年度から継続して開催しているコンサートです。

平成20年度は、11月に通算40回目となるコンサートを宮城県大崎市田尻で地域の中学生約300名を招待し、楽器の解説等を交えながら生演奏を楽しんでいただきました。

◆「七十七スターライトシンフォニー」の開催

当行の芸術文化振興活動の一環として、また仙台冬の風物詩“SENDAI 光のページェント”の参加企画として、平成3年から毎年開催しているコンサートです。

毎回、オーケストラの演奏をバックに著名なアーティストが出演しており、平成20年12月には「海援隊with庄野真代スペシャルハーモニー 演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団」と題し、地域の皆さまにお楽しみいただきました。

今回は、当行の創業130周年記念事業の一つとして、例年よりもご招待者を400名増やし、抽選で合計2,000名の地域の皆さまをお招きしたほか、児童養護施設の方々もお招きしました。また、広く社会福祉に役立てていただけるよう、会場ロビーにおいてチャリティー募金も実施しました。

発行：株式会社七十七銀行 総合企画部 広報・関連事業課
〒980-8777 仙台市青葉区中央三丁目3番20号
TEL 022-267-1111(代)

ホームページアドレス <http://www.77bank.co.jp/>